**重業基** 2021 - 総務 - 20 - 0162

				<b>今</b> £	п? 在 庄夕		7 木 田 生 坐 し		ーシート	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		 総務省	2	_	$\overline{}$
				፲ 7	10十尺1	」以	サ未レ		<u>.ーシード</u>		ग	<b>応</b> /分下	1		
事業名	旧日本	赤十字社救護	看護婦処遇	等経費	Ī		担当部	ß局庁 ———	大臣官房				作月	責任者	
事業開始年度	昭	和54年度	事業 (予定	終了 )年度	終了予定7	なし	担当	課室	総務課管理	!室		室县	長 小原	邦彦	
会計区分	一般多	会計													
<b>根拠法令</b> (具体的な 条項も記載)	•総務 号)	省設置法(第	[4条第1]	項第86号	、第87号及び	第96	関係 計画、		<u>-</u>						
主要政策・施策	_						主要	経費	その他の事	項経費					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	②戦後 ③一般	・強制抑留者に 対戦災死没者に	こ対する慰 こ対する追り	藉の念をえ 悼の意を表	示す事業の円別 長す事業の充実	骨な推進 実を図る	進を図ること ること。	<b>-</b> 0	)円滑な運営を図						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	て12 <sup>年</sup> ②戦後 ができ ③一般	F以上に達する 強制抑留者に る者が行う当記 対団法人太平	る本人が対 に係る慰藉 該慰藉事業 呼洋戦全国	象)に応じ 事業(慰霊 きの支援を 空爆犠牲	て日本赤十字 祭、展示会及 行う(定額)。	社が行び抑留	う慰労給付 体験の労き 車県姫路市	け金支約 きを語り に所名	ス勤務期間(3年 合事業の支援を行 J継ぐ集いの開催 Eする太平洋戦会 E行う(定額)。	う(定額)。 事業、シベ	リア慰霊訪問	引事業等)	を全国規	模で実施	すること
実施方法	補助														
				平成	30年度	ŕ	和元年度	Ę	令和2年原	支	令和3年原	度	令和	]4年度要	要求
		当初予算			148	135			128		118			103	
		補正予	算		_		_		_		_				
	予算が有度から繰越し			_		_		_		_			-		
予算額・	の状況翌年度へ繰越し			_		_		_		_					
執行額	"	予備費	等		-		_		_		_				
(単位:百万円)		計			148		135		128		118			103	
		 執行額			140		130		113						
		<del></del>	\		95%						<del>                                     </del>				
	当初三	新1」卒(% 予算+補正予					96%		88%						
		執行額の割合	(%)		95%		96%		88%						
	IB B	歳出予算目 本赤十字社素			度当初予算	令和	和4年度要	求	·慰労給付金 <i>0</i>	古经供物	主な増減の自然減	<sup>或理由</sup>			
		<sup>4</sup> 奶儿 于 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			118		103		"您力和的亚贝	<b>人人们计数</b>	.07日 杰派				
令和3·4年度 予算内訳															
(単位:百万円)															
		 計			118		103								
			n./=						t t - :	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	A = 1	中	間目標	目標最	<b></b> 終年度
	元 	≧量的な成果	日標		成果指標			単位	平成30年度	令和元年	度 令和2年		年度	_	年度
成果目標及び   成果実績							成果実績	-	-	-	-		-		_
(アウトカム)	_			_			目標値	-	-	-	_		_		_
							達成度	%	_	-	_		_		_
成果目標	及び	成果実績(ア	ウトカム)	欄につい	てさらに記載	が必要	要な場合に	はチェ	 ックの上【別紙 <sup>-</sup>	こに記載	J J	チェック			

要書館を目標 が高速できた。 であっていまれた。 であっていまれた。 であっていまれた。 であっていまれた。 であっていまれた。 「おおからなどのであれた。 「おおからなどのであれた。 「おおからなどのであれた。 「おおからなどのであれた。 「おおからなどのであれた。 「おおからなどのであれた。 「などのであれた。 「などのながないのであれた。 「などのながないのであれた。 「などのながないのであれた。 「などのながないのであれた。 「などのながないのであれた。 「などのながないのであれた。 「などのながないのであれた。 「ないないのであれた。 「ないないのであれたないので			定量的な目標	票が設定できない理由			定性的な成り	果目標と平成	30~令和2年	■度の達成状	況•実績			
# 位	定量的な	が設定できない理由及び定性的な成果目	等は請求を受けて行われるすることは困難。 ②戦後強制抑留者に対する 難。 ③一般戦災死没者に対する	ことから、定量的な成果目標 慰藉の念を定量的に示すこ	を設定とは困	名 への確実な支給を実施。 ②戦後強制抑留者に対する慰藉事業が着実に実施されることを目標として、 平成30年度から令和2年度までの間において、戦後強制抑留者に係る慰藉 事業を全国規模で実施することができる者(一般財団法人全国強制抑留者協会)により、慰藉事業として、慰霊祭、展示会、抑留体験の労苦を語り継ぐ 集いなどを実施。 ③一般戦災死没者に対する追悼の意を表す事業が着実に実施されることを 目標として、平成30年度から令和2年度までの間において、一般財団法人太 平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会により、一般戦災死没者追悼事業として、								
	果		代替目標	代替指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
「株田	の	を検証するための代替的な	①過去の支給件数の自然		実績	百万円	6	5	8	-	-			
佐藤東寺の東台性   大徳自標   大徳指標   大徳指標   東京の東台性   大徳自標   大徳自標   大徳自標   大徳自標   大徳自標   大徳自標   大徳自標   大徳自標   大徳自藤   大徳   大徳自藤	設定が	達成目標及び	減を踏まえた適正な慰労給	予算額-給付金確定額	目標値	百万円	_	-	_	-	_			
#位当たりコスト  #位当た	加困				達成度	%	100	100	100					
おの代替的な   2回日本来 (回至祭、展示	場	を検証するための代替的な 達成目標及び 実績	代替目標	代替指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
選載日標及び			②慰藉事業(慰霊祭 展示	慰藉事業(慰霊祭 展示	実績	事業	4	4	3	-	-			
関リの有来な実施			会、抑留体験の労苦を語り	会、抑留体験の労苦を語り	目標値	事業	4	4	4	_	_			
単位   平成30年度 令和2年度   中間目標   日標長幹年度 を検証するための代替的な   3 - 段戦以死没者追悼事業   日標版   2 2 2 2   年度   2 2 2   年度   2 2 2   1					達成度	%	100	100	75					
図の代替的な   3一般戦災災活者追悼事業   2位   2		事業の妥当性	代替目標	代替指標		単位								
接成構及び 表 (		を検証するための代替的な達成目標及び実績	────────────────────────────────────		実績	回	2	2	2	-	-			
達成度   90   100			業(追悼平和祈念式典、慰		目標値		2	2	2	_	_			
潜動指標及び   活動指標   単位   平成30年度   令和2年度   活動見込   活動指標   一位   平成30年度   令和2年度   7元   7元   7元   7元   7元   7元   7元   7				塔の広報・啓発)の数		%	100	100	100	_	_			
活動作権及び  活動作権		活動実績	ゾチ	+t-1-m						3年度	4年度			
(アウトブット)	ÿ		古 <u></u>		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度						
活動共構及び   活動実績 (アウトブット)   担抗30年度   元和12年度   活動見込   活動実績 (アウトブット)   担抗30年度   元和12年度   活動見込   活動実績 (アウトブット)   活動指標   単位   平成30年度   令和2年度   3年度活動見込   3年度   3年度活動見込   3年度   3年度活動見込   3年度   3年度活動見込   3年度活動見込   3年度活動見込   3年度活動見込   3年度活動見込   3年度活動見込   3年度   3年度活動見込   3年度	(		①慰労給付金の支給件数 1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・			359 –	300	255 -	-	-				
(アウトブット)   20   21   22   23   4年度   3年度   3年度   3年度活動見込   31   31   30   7   7   7   7   7   7   7   7   7	ÿ	5動指標及び	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
活動指標及び  活動指標   単位 甲成30年度 令和元年度 令和2年度   3年度   3年度   3年度   活動見込   活動見込   1 表動   3	(	アウトプット)	②心精争未(心霊宗、展小云、抑笛体駅の方古を詰り   継ぐ焦い、シベリマ尉電計明)の関雄同数							-	-			
活動技績 (アウトブット) (アウトブットブット) (アウトブ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ファロ・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー			がたく来び、プログラル	当初見込み	箇所	31	31	30		-				
(アウトブット) 3)一般戦災死没者退俸事業(追僱中和抗念式典、慰霊 お切足込み 事業 2 2 2	ř		活動	指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
野の広報啓発)のうち、実施された事業数		アウトプット)			活動実績	事業	2	2	2	_	-			
単位当たり コスト         ①慰労給付金の執行額/支給件数         単位 当算式 百万円/件         0.2         0.2         0.2         -           単位当たり コスト         算出根拠         単位 計算式 所         単位 日の円/ 17百万円/値         1         1         1           単位当たり コスト         算出根拠         単位 日の円/ 計算式 所         17百万円/位 17百万円/位 17百万円/位 17百万円/位         15百万円/14 16百万円/13 15百万円/14         3年度活動見込           単位当たり コスト         算出根拠         単位 日の円/ コスト         11百万円/4 11百万円/4         10百万円/3 11百万円/7         3年度活動見込           単位当たり コスト         算出根拠         単位 日の円/ 17日の円/7         0.9         1 6百万円/7         6百万円/7         6百万円/7 </td <td></td> <td></td> <td> 塔の広報啓発)のうち、実施  </td> <td>された事業数</td> <td>当初見込み</td> <td>事業</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>_</td> <td>_</td>			塔の広報啓発)のうち、実施 	された事業数	当初見込み	事業	2	2	2	_	_			
1 型 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対			算出	根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度	医活動見込			
計算式   百万円/件   80/359   68/300   57/255   -     単位当たり			<b>4 84₩/</b> // / · · · ·	─────────────────────────────────────		百万円	0.2	0.2	0.2		_			
単位当たり コスト         ②慰霊祭の実施に要した経費/活動実績(開催数)         単位当たり コスト         百万円         1         2         2         1 <td></td> <td><b>—</b>/ 11</td> <td>  ①慰労給付金の報</td> <td><b>八代観/文紹件</b>叙</td> <td>計算式</td> <td>百万円/件</td> <td>80/359</td> <td>68/300</td> <td>57/255</td> <td></td> <td>_</td>		<b>—</b> / 11	①慰労給付金の報	<b>八代観/文紹件</b> 叙	計算式	百万円/件	80/359	68/300	57/255		_			
②慰霊祭の実施に要した経費/活動実績(開催数)			算出	根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度	<b>逐活動見込</b>			
計算式						百万円	1	1	1		活動見込 活動見込			
単位当たり コスト     ②展示会の実施に要した経費/活動実績(開催数)     単位当たり 計算式 原 万円/億 所 11百万円/4 11百万円/4 11百万円/4 10百万円/3 11百万円/4 11百万円/4 10百万円/3 11百万円/4 11百万円/4 10百万円/3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		7711	②慰霊祭の実施に要した。 	<b>栓箕/沽助美</b> 稹(開惟致)	計算式	百万円/箇 所	17百万円/14	16百万円/13	15百万円/14					
単位当たり コスト         ②展示会の実施に要した経費/活動実績(開催数)         単位当たり 計算式 原介円/箇 11百万円/4 11百万円/4 10百万円/3         3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			算出	根拠		***	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度	延活動見込			
②展示会の実施に要した経費/活動実績(開催数) 計算式														
第出根拠 単位 平成30年度 令和元年度 令和2年度 3年度活動見込 単位当たり 百万円 0.7 0.9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		コント	②展示会の実施に要した。 	経費/活動実績(開催数)		百万円/箇								
単位当たり コスト     ②抑留体験の労苦を語り継ぐ集いの実施に要した経費 /活動実績(開催数)     単位当たり 計算式 所     5百万円/7     6百万円/7     6百万円/5       単位当たり コスト     単位当たり コスト     単位 平成30年度 令和元年度 令和2年度     3年度活動見込       単位当たり コスト     百万円 2     2     0       計算式 所     百万円/6     10百万円/4     10百万円/4     4百万円/6				根拠		***	-		-	3年度	医活動見込			
コスト   ②和留体験の労苦を語り経ぐ集いの美施に要した経費   コベー														
単位当たり コスト     ②シベリア慰霊訪問の実施に要した経費 /活動実績(開催数)     単位当たり コスト     百万円     2     2     0		コスト	②抑留体験の労苦を語り継ぐ集いの実施に要した経費											
単位当たり コスト     ②シベリア慰霊訪問の実施に要した経費 /活動実績(開催数)     単位当たり コスト     2     2     0			算出	根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度	逐活動見込			
コスト   ②シベリア慰霊訪問の実施に要した経質						百万円	2	2	0					
		コスト							4百万円/0					

		政策	Ⅷ. 国民生活の安全・安心								
		施策	1. 一般戦災死没者追悼等の事業の推進								
			定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	目標年度	
	政	測定指標	一般戦災死没者の慰霊事業等、先の大戦に係る事業 への対応。	実績値	事業	100% (4/4)	100% (4/4)	100% (4/4)	-	-	
政策	政策評価		※他事業と合わせて一般戦災死没者の慰霊事業等が 適切に行われることを施策目標とするもの	目標値	事業	100% (4/4)	100% (4/4)	100% (4/4)	-	100% (4/4)	
平西			本事業の原	成果と上位	施策∙測	定指標との関	<b>月</b> 係				
新経済・財政		ること 及び( ことに	本赤十字社による旧日本赤十字社救護看護婦等に対する ができる者(一般財団法人全国強制抑留者協会)による ③一般財団法人太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会によ より、旧日本赤十字社救護看護婦等の労苦に報い、戦役 こつながり、一般戦災死没者追悼等の事業の推進に寄与	慰霊祭、展 る追悼平和 後強制抑留	表示会及 日祈念式	び抑留体験の 典、慰霊塔の	)労苦を語り約 )広報・啓発等	迷ぐ集い、シィ Fの一般戦災	ベリア慰霊訪 死没者追悼	問等の慰藉事 事業が行われ	
財政再生計画と	新経済	( 第 <sub>K</sub>	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年	
ョ と の	済・	— R I   E   F   F   F   F   F   F   F   F   F		成果実績	-	_	_	-	-		
関係	財政	一	_	目標値  達成度	- %	_	_	_	-		
	再生計画		KPI (第二階層)		単位	計画開始時	2年度	3年度	中間目標	目標最終年	
	画改革工程表	第二階 居		成果実績	_	-	-	-	-		
	程	雇I  ·	_	目標値	-	_	_	-	-		
	2		* <b>* * *</b>	達成度	% n细事语	- KPIとの関係	-	-	-		
			事業所管	部局による	<u> </u>	<del></del>		=w/ <b></b>   − 88	≠≠≠₩₩		
			項 目 			評 価 		評価に関			
	事業	の目的	は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			支出 業とし ②戦 の 事業で れる。 ③全[ 被害;	こより日本赤 て制度設計で 後強制抑留に の支援を行う 国各地の都市	十字社においされている。 対する社会 ことは今もっ ことから、一	いて慰労給付 的関心が高ま てなお意義が もの大戦にお 般戦災死没者	服いるため、国金を支給することでおり、慰う大きいと考えける空襲などがは関するのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	
	II .							①旧日本赤十字社救護看護婦等の労苦に報いるため、国支出により日本赤十字社において慰労給付金を支給する業として制度設計されている。 ②戦後強制抑留者の労苦に対し、慰藉の念を示すため、の責務として、慰藉事業の支援を実施する必要がある。 ③全国各地の都市において、先の大戦における空襲など被害が大きかったことから、国の責務として一般戦災死沒追悼事業の支援を実施する必要がある。			
入の込	地方	自治体	、民間等に委ねることができない事業なのか。			支出 業とし ②戦 の う ③全 被害	こより日本赤 て制度設計 後強制抑留者 務として、慰頼 国各地の都市 が大きかった	十字社におい されている。 たの労苦に対 き事業の支援 でいて、分 ことから、国の	いて慰労給付し、慰藉の念を実施するが もの大戦にお の責務として	金を支給する を示すため、 必要がある。 ける空襲など	
入の必要生		目的の	、民間等に委ねることができない事業なのか。 達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で	で優先度の	p高い	文業②の③被追 ①支業②の③被追 ①支業②の③被追 ①支業②の③被害	こより野野ない事では、大きので強とし、大きので強とし、大きのでは、はないでは、大きのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	十字社においた。対きによりであるに、大学では、一学社の一学では、一学では、一学では、一学では、一学では、一学では、一学では、一学では、	いて 慰労給付 し、実大務あ をの責が の慰し、 をの責が の慰し、 でし、大の財 の慰いでし、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	金を支給するを を示すある。 か要る空災死 け般 いるを支 として を として いる空 と と しる空 き な と と と と と と と と と と と と と と と と と と	
入の必要性	政策事業	目的の か。		で優先度の	高い	文業②の③被追 ①支業②の③被実 ②の③被実 ②の③被実 ②の③被実 ②の③被実 ②の③を 第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	こと後務国が事 日ここ後施国が図ります。 おいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり は	十十十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	いてしたした大の要いて大の事がいた大の声がいた大の財いた大の財いた大の財はたはたはたははたははははははははははははははははははははははははははははははははは	金を支給するを支給するを表示がある。 な要の変災がある。 はのでである。 はのではのである。 はのではのである。 はのではのではのである。 はのではのではのではのではのではのではのではのではのではのである。 はのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのでは	
国費役入の必要性	政策事業	目的のか。性が確し一般	達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で			文業②の③被追 ①支業②の③被実 ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	こに後務国が事 日こに後施国が図 後つ、より制制と各大業 本よて強を各大る 強全日度抑、のか支 十日度抑援のかは 抑風を設留慰都の援 字赤計署のかは 抑規赤計署兼計たを お赤計署を はった はっかき はった はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいか	十され。 中されの事にと実 中されの事にと施 でい苦のいらす でででするにとが にるに支いらき ではいいらき ででである。 ではいいらき ではいいらき をないいらき をないいらき をないいらき をないいらき をないいらき をないいらい。 をないい。 をないいらい。 をない。 をないい。 をない。 をないい。 をないい。 をない。 をないい。 をないい。 をない。 をない。 をないい。 をない	いて表表の要等で大の戦一次大の要等で大の戦一次大の財大の戦大の戦一次大の戦大の戦大の戦一次大の戦本大の戦一次大の戦本大の戦一次大の戦大の戦大の戦中央大の戦大の戦大の戦中央大の戦大の戦大の戦中央大の戦大の戦大の戦大の戦大の戦大の戦大の戦中央大の戦大の戦大の戦中央大の戦大の	金を支給する を示すため、 必要がある。 ける空襲など	

	受益者との	負担関係は妥当である	らか。	-				
事業	単位当たり	コスト等の水準は妥当	か。	0	②③限られた予算の中でいかに事業を効率的・効果的に実施することができるかという観点からその対象を絞り込むなど、効率的・効果的な実施を図っている。			
の 効 率	資金の流れ	の中間段階での支出	は合理的なものとなっているか。	0	①定期的に支給事業遂行状況報告を提出させ、支出の確認 を実施している。			
性	費目•使途#	が事業目的に即し真に	必要なものに限定されているか。	0	①費目・使途は、慰労給付金の支給に限定している。 ②費目・使途は、戦後強制抑留者に係る慰藉事業に要する 経費として限定している。 ③費目・使途は、一般戦災死没者追悼事業に要する経費と して限定している。			
	不用率が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-				
	繰越額が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-				
	その他コスト	-削減や効率化に向け	た工夫は行われているか。	-				
事業	成果実績は	成果目標に見合ったも	らのとなっているか。	0	①旧日本赤十字社救護看護婦等に対する慰労給付金の支給に必要な経費を確保し、日本赤十字社への確実な支給を実施している。 ②戦後強制抑留者又はその関係者に対し、慰藉の念を示すことができたほか、多く世代の参加を得て、慰藉事業を着実に実施している。 ③一般戦災死没者追悼事業として、追悼平和祈念式典、慰霊塔の広報・啓発を着実に実施している。			
<b>XU</b>		当たって他の手段・方 低コストで実施できてし	法等が考えられる場合、それと比較してより効果 vるか。	-				
性	活動実績は	見込みに見合ったもの	つであるか。	0	②戦後強制抑留者に係る慰藉事業の趣旨や事業内容を深く理解し、全国規模で実施できている。 ③全国の一般戦災死没者に対して追悼の意を表す追悼平和祈念式典などが実施できている			
	整備された	施設や成果物は十分に	こ活用されているか。	-				
		業がある場合、他部局 体的な内容を各事業の	・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役 の右に記載)		①「旧日本赤十字救護看護婦処遇費等補助金」は、旧日本 赤十字社救護看護婦等の労苦に報いるため、国庫支出によ			
事業	所管府省名	事業番号	事業名		り日本赤十字社において慰労給付金を支給する事業として 制度設計されており、総務省で補助金を支給している。それ			
*	厚生労働省	20 - 0773	日本赤十字社救護業務費等補助金		に係る事務費については、厚生労働省が負担している。			
(1)旧日本赤十字社救護看護婦等に対する慰労給付金支給事業は円滑に実施された。 ②戦後強制抑留者に係る慰藉事業(慰霊祭、展示会及び抑留体験の労苦を語り継ぐ集い)は着実に実施された。(シベリア慰霊訪問については、新型コロナウイルスの影響により渡航を中止することを判断した。) ③一般戦災死没者に対する追悼に関する事業(追悼平和祈念式典、慰霊塔の広報・啓発等)は着実に実施された。								
改善結果	改善の 方向性	②引き続き、戦後強制	5十字社救護看護婦等に対する慰労給付金支給事 前抑留者に係る慰藉事業が全国規模で実施される。 近死没者に対する追悼に関する事業が充実するよう	よう支援す				
			外部有識者の所見	•				
外部	有識者による	る点検の対象外						

# 行政事業レビュー推進チームの所見

現 り状 通

事業の効率的な予算執行に努め、引き続き所要額を計上。

### 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現 り状 通

事業の効率的な予算執行に努め、引き続き所要額を計上。

## 備考

		関連する過去のレビューシ	ノートの事業番号		
平成22年度 150					
平成23年度 150					
平成24年度 143					
平成25年度 142					
平成26年度 141					
平成27年度 138					
平成28年度 134					
平成29年度 138					
平成30年度 130					
令和元年度 総務省	- 0144				
令和2年度 総務省	- 0160 ※令和2年度実績を記入。執行実績がな	, <b>**</b>		>*+=1.3	
<b>資金の流れ</b> (資金の受けいるのででででででででででででででででででででででででできる。) (単位:百万円)	〔補助金の交付〕 補助 ↓ A. 日本赤十字社(認可法人) 57百万円 旧日本赤十字社救護看護婦等(に対する慰労給付金支給事業)経費として補助 支給 ↓ B. 受給者 255名 57百万円	相助 C. 全国強 (一般 41	第省 百万円 〔補助金の交付〕 ▼ 制抑団法人) 百万円 君に係る慰藉事業 補助	[補助金の交付] 補助  D. 太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協 (一般財団法人) 15百万円  一般戦災死没者に対する追悼に 関する事業の経費として補助	

		A.日本赤十字社			B.受給者 255名				
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)			
	給付金	慰労給付金	57						
	計		57	7 計					
	(	C.(一財)全国強制抑留者協会		D.(-	財)太平洋戦全国空爆犠牲者慰				
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」に	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)			
おいてブロックごとに最大の金額	諸謝金	委員会出席等に対する報酬	1	雑費	事務用品等の購入、通信運搬費、印刷製本費、会場借料及び雑役務費等に要する経費	7			
が支出されている 者について記載	事務局旅費	事務局職員が委員会出席等のために要す る旅費等	2	管理費	事務局員に係る給与、手当等	8			
する。費目と使途の双方で実情が分かるように記	委員等旅費	各種委員会の委員長及び委員等のために 要する旅費等	2						
載)	庁費	事務用品等の購入、印刷製本費、通信運搬費、光熱水料金、賃金、会場借料及び雑役 務費等に要する経費	27						
	会議費	委員会等開催の際に要するお茶代等	2						
	管理費	事務局職員に係る給与、手当等	6						
	計		40	計		15			
	費目・使途欄に	ついてさらに記載が必要な場合はチェック	の上【別紙	2】に記載	チェック				

## 支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本赤十字社	6010405002452	旧日本赤十字社救護看護 婦等に対する慰労給付金 支給事業の補助	57	補助金等交付			

В

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	1	慰労給付金	0.4	その他			
2	個人B	1	慰労給付金	0.4	その他			
3	個人C	-	慰労給付金	0.4	その他			
4	個人D	ı	慰労給付金	0.4	その他			
5	個人E	1	慰労給付金	0.4	その他			
6	個人F	1	慰労給付金	0.4	その他			
7	個人G	1	慰労給付金	0.4	その他			
8	個人H	1	慰労給付金	0.4	その他			
9	個人I	-	慰労給付金	0.4	その他			
10	個人J	-	慰労給付金	0.4	その他			

С

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一財)全国強制抑 留者協会		戦後強制抑留者に係る慰 藉事業の補助	41	補助金等交付	_	_	_

D

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一財)太平洋戦全 国空爆犠牲者慰霊 協会	3140005013146	一般戦災死没者に対する 追悼に関する事業の補助	15	補助金等交付	I	-	-
	支出先上位10和	チェック						

## 国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1									